
Mothers

証券コード

3773

2007年3月期決算 説明会資料 2007年5月17日



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

代表取締役社長 **鈴木 清幸**

I. 2007年3月期 (10期) 連結決算の実績及び、 2008年3月期 (11期) 連結決算の見通しについて

II. 今後の事業の方向性について

III. 参考資料

<ご案内>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

I . 2007年3月期 (10期) 連結決算の実績及び、 2008年3月期 (11期) 連結決算の見通しについて

1. 業績及び見通しのハイライト

07年3月期連結業績ハイライト

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンス・メディア

[売上高の状況]

	07年3月期	06年3月期
■ 売上高:	3,111百万円	2,566百万円

売上高: 音声事業は医療分野が予想を上回ったものの、その他の分野などは予想を下回り、前年対比マイナス。一方、連結子会社エムシーツー株式会社は堅調に推移。

[利益・費用の状況]

	07年3月期	06年3月期
■ 売上総利益:	1,045百万円	1,245百万円
■ 販管費:	2,308百万円	1,352百万円
■ 営業利益:	▲1,262百万円	▲107百万円
■ 経常利益:	▲1,325百万円	▲59百万円
■ 当期利益:	▲1,365百万円	▲131百万円

売上総利益: 音声事業において、受注及びアフターサポートのための営業経費（開発経費を含む）やソフトウェア償却が増加し、売上原価率上昇。

販管費: 音声事業において、研究開発費や営業強化に伴う人件費増。テレマーケティング事業で広告宣伝費の増加。

[その他の状況]

■ 役員報酬減額

業績下方修正を受け、経営責任の明確化のため、役員報酬25%・3ヶ月の減額。

●売上拡大のための施策

- ・有望マーケット (特に、医療・金融公共・エンターテインメント & 教育分野) への経営資源の集中。
- ・各事業分野のニーズを満たした商材の提案。
- ・当社の音声認識技術を利用したパートナー各社との協業の推進。

●原価率・販売管理費低減のための施策

- ・開発と営業を一体化した組織を構築、人材の適正配置による効率的な業務フローで人件費の抑制。
- ・将来的に大きな売上拡大の見込みのある事業 (モバイル事業など) への先行投資の集中。
- ・開発効率の向上による原価率の低減。

[売上高の状況]

	08年3月期	07年3月期
■ 売上高:	4,195百万円	3,111百万円

売上高: 音声事業は営業と開発を一体化しソリューション営業を本格化。医療分野、金融・公共分野は前年比40%増を予想。テレマーケティング事業もアフィリエイト事業開始で売上増を見込む。

[利益・費用の状況]

	08年3月期	07年3月期
■ 売上総利益:	1,377百万円	1,045百万円
■ 販管費:	2,111百万円	2,308百万円
■ 営業利益:	▲734百万円	▲1,262百万円
■ 経常利益:	▲776百万円	▲1,325百万円
■ 当期利益:	▲815百万円	▲1,365百万円

売上総利益: 原価率低減の施策を行うものの、ソフトウェア償却負担が重く(粗利率を約20%押し下げ)粗利率は33%程度にとどまる見込み。

販管費: 人件費、支払手数料、販促費を減少させ、07年3月期を下回る水準に。

**I . 2007年3月期 (10期) 連結決算の実績及び、
2008年3月期 (11期) 連結決算の見通しについて**

2-①. 音声事業の業績及び見通し

音声事業の実績と見通し

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

■ 収益の実績と見通し

単位: 百万円

	06年3月期	07年3月期 実績	08年3月期 見通し
売上高	1,946	1,539	1,840
営業費用	1,830	2,582	2,460
営業利益	116	▲1,043	▲620

注) アドバンスト・メディア単体ベース

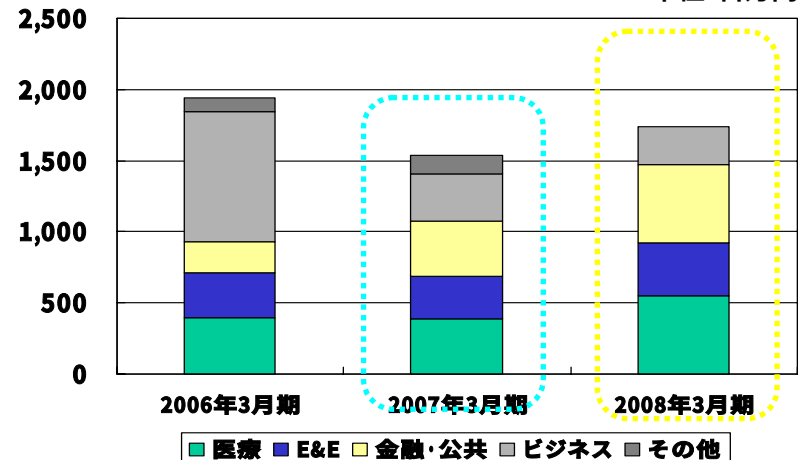
ビジネスソリューション分野における従来商品の販売不振、ホールプロダクト化の遅れ、新規ソリューション案件獲得未達、見込み客の外部環境変化による受注機会の逸失等により売上ダウン。

【実績ハイライト】

- 医療分野: 病院向け放射線画像診断レポート音声認識システムの売上は好調。
- 教育及びエンターテインメント (E&E) 分野では、英語発音評価アプリケーション販売が増加。
- 金融・公共分野では三菱東京UFJ銀行など、CS向上やコンプライアンスの実現を目的とした導入開始。前期に引き続き地方議会に対して議会議事録作成支援システム6件導入。
- ビジネス分野ではパッケージビジネスから受託ビジネスへ営業資源をシフト。次のライセンス商材の掘り起こし開始。

■ 分野別売上高推移

単位: 百万円



営業と開発を一体化。営業体制を顧客セグメントに分類。高収益率のライセンス販売及び分野別ソリューション営業の強化。

【計画達成の取り組み】

- 医療分野は、従来商品の販売強化に加え、既設チャネルを利用したその他商品、ソリューションを受託・販売推進。
- 教育及びエンターテインメント (E&E) 分野は、引き続きゲーム関連や、教育関連製品の開発・販売に注力。
- 金融・公共分野 (旧CTI分野) は、コンプライアンス強化を受け、金融系ユーザを中心にソリューション販売。また地方議会向け議事録支援は、地域に根ざしたシステム開発会社協業に注力。
- ビジネス開発分野は、IT化が困難だった第一次産業向けにソリューション販売。マンション・オフィスに声紋認証の更なる普及と、携帯電話向け声紋認証の開発も進める。
- モバイル分野は、引き続き搭載を各携帯キャリアに働きかける。また個人向けモバイルコンテンツサイトの開発、リリースを行う。

音声事業・4つの事業ドメイン概要

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

07年3月期より、音声事業において営業と開発を一体化させ、4つの事業ドメイン別に音声認識ソリューションを展開。

医療

医療機関単位に医療向けパッケージ以外の音声認識ソリューションの受託・販売を推進。

教育/エンターテインメント

教育関連ソフト・家庭用ゲーム・オンラインゲーム・携帯ゲーム・カラオケゲーム向けの音声認識を使ったシステムの開発・販売を継続。



Advanced Media, Inc.

ビジネス開発

データエントリーの手段として音声認識ソリューション・声紋認証を販売。

金融・公共

コンプライアンス強化を受け、金融系ユーザを中心にCTIや議事録作成支援システムの音声認識ソリューションを展開。



医療



教育/エンターテインメント

医療機関単位に医療向けパッケージ以外の音声認識ソリューションの受託・販売を推進。



Advanced Media, Inc.



ビジネス
開発



金融・公共

●2007年3月期の実績

- ・病院向けの販売は通期を通して好調。
- ・ **AmiVoice® Ex**をバージョンアップで拡販へ。(7月)
- ・電子カルテ向け音声認識ソフト診療所・病院向け
⇒年間245施設導入。累計558施設 1施設平均単価23万円
- ・放射線画像診断レポート音声認識システム病院向け
⇒年間140施設導入。累計562施設 1施設平均単価140万円
- ・調剤薬局向け⇒年間162施設導入。累計938調剤薬局 1施設平均単価43万円
- ・歯科向けカルテを9月より発売したものの、患者への治療計画、指導内容を記載する「指導管理料」の文書での提供が簡素化された結果、販売数は低迷。
- ・医薬施設全体⇒年間560施設に導入。累計約2,114施設 1施設平均単価59万円。



●2008年3月期の見通し

・従来、パッケージ製品単位に営業活動。



医療機関単位に各種音声認識ソリューションの受託・販売。

・介護機関における介護計画書作成支援ツールの拡販。

・調剤薬局チェーン店への営業を強化。

・ホールプロダクト化により従来の先駆的な利用から日常的な利用にシフト。(売り切りから使用料徴収の形態へ)

注) ホールプロダクト化とは従来の商品を先進的な技術導入に積極的なドクターばかりでなく一般のドクターが利用したいと思う商品に変更すること。例えば、手書き電子カルテに音声入力機能をつけ、使い勝手を向上させることや、調剤薬局の場合は従来の音声薬歴データ入力に服薬指導機能を付加することなど。

医療

教育/エンターテインメント

教育関連ソフト・家庭用ゲーム・オンラインゲーム・携帯ゲーム・カラオケゲーム向けの音声認識を使ったシステムの開発を継続。



Advanced Media, Inc.

ビジネス
開発

金融・公共

●2007年3月期の実績

・ゲーム/エンターテインメント分野

- オンラインゲーム開発、ロボット、ゲームソフトのライセンス販売など
- セガ・ミュージック・ネットワークスのカラオケゲーム向けライセンス販売
11月には音声認識で遊べる 東北大学川島隆太教授「楽しい脳トレ 監修版」などのアプリケーションが搭載。
- ポプラ社の子ども向け総合百科事典『デジタルポプラディア』にAmiVoiceが採用され、音声(こえ)で動く百科事典を実現。

・教育分野

- 大学・高校向け英語発音評定システムの販売が好調(2006年度は31施設に導入済み。)
- 個人向け教材としてビジネスパートナーより発売された音読型日本語学習アプリケーション、対話型英会話練習アプリケーション、ヒアリング力向上発音トレーニングソフトにライセンスを提供したパッケージ販売が好調。(IEインスティテュート、アルクなど)
- 専門学校などを対象に音声認識を使った語学関連の各種Eラーニングシステムや文部科学省・文化庁向けのコンテンツ開発。

●2008年3月期の見通し

・ゲーム/エンターテインメント分野

-家庭用ゲーム・オンラインゲーム・携帯ゲーム・カラオケゲーム向けの音声認識を使ったシステムの開発。

・教育分野

-大学・高校向け英語発音評価システムの販売を強化。(代理店の拡充)

-Eラーニング 英語以外に日本語・中国語にも進出。

-文部科学省・文化庁向けのコンテンツ開発。

-大学講義録の書き起こし。

-個人向け教材のビジネスパートナーとの連携によるライセンス販売の拡大



**AmiVoice CALL
-pronunciation-**



**声にだして覚える英会話
IE Institute**



**セガカラの新機種
「CANDOONE」
セガ・ミュージック**



イメージ 見出し語一覧

**総合百科事典
「デジタルポプラディア」
ポプラ社**



Advanced Media, Inc.



コンプライアンス強化を受け、金融系ユーザを中心にCTI や議事録作成支援システムの音声認識ソリューションを展開。

●金融CTI (コンピュータ・テレフォニー・インテグレーション) 2007年3月期の実績

- ・金融、証券、生保などに導入。
- ・三菱東京UFJ銀行がCS (顧客満足度) 向上を所管する「お客さまご相談部」の戦略ITツールとして採用。
- ・11月にはコールセンターにおける高いコンプライアンスの実現を目指して**AmiVoice Assist**をバージョンアップ。
- ・メッセージワン社とコールセンター向けソリューション事業で業務提携し、音声認識技術と感情解析技術を連携させたソリューションを共同開発。

2007年3月期下期の主な実績

顧客名	導入製品	導入目的
某銀行	CallScriber	コンプライアンス強化。通話内容の見える化。行員とお客様との通話を全文テキストし、任意のキーワード例えばリスクワード、重要説明事項等のキーワードで任意に検索ができるようにする。
某証券会社	AmiVoice EX	株価問い合わせ端末への音声入力機能の実装。誰でも容易に株価の検索が可能。
某生命保険会社	AmiVoice Assist	オペレータ支援。会話の中のキーワードを検知し、それに関連した情報をポップアップ表示。
某証券会社	AmiVoice EX	クレーム等の通話内容の全文書き起こしの効率化。
某損保会社	AmiVoice EX	事故受付におけるアフターコールワークの効率化。入力負荷軽減。
某フィルムメーカー コールセンター	CallScriber	お客様の声を商品開発に生かすために 全文テキスト化し、要約した内容を技術部門にフィードバック。
ナレッジマネジメントベンダ	AmiVoice Reporter	ナレッジマネジメントシステムへの携帯から音声入力。これにより、携帯で報告書の入力・検索が可能となり、出先からほぼリアルタイムで情報の更新・共有が可能。

●議事録<自治体向け> 2007年3月期の実績

・議会向け議事録、民間企業、病院向け議事録を展開。2006年度は6自治体に導入

主な実績 自治体

正式導入	導入 年月日	導入目的	導入状況			人口・議員数		システム構成(ライセンス数)		
			本会議	委員会 (部屋数)		人口 (人)	議員 数(人)	Recorder	Rewriter	Control Server
☆ 静岡県 沼津市議会	2004年6月	作業の効率化/委託費削減	○	○	3	21万	35	2	4	2
☆ 北海道 北海道議会	2005年6月	委託費削減	○	○	3	568万	110	3	6	3
☆ 静岡県 伊豆市議会	2005年6月	委託費削減	○	○	1	3万7千	26	1	2	0
☆ 埼玉県 戸田市議会	2005年6月	業務の効率化	○			11万6千	27	1	4	0
☆ 某市議会	2005年6月	業務の効率化		○	3	5万6千	20	1	3	0
★ 北海道 深川市議会	2005年12月	作業の効率化/委託費削減	○	○	3	2万5千	20	1	3	0
★ 茨城県 取手市議会	2006年3月	作業の効率化/委託費削減	○	○	3	11万	42	1	6	1
☆ 長崎県 南島原市議会	2006年6月	合併に伴い情報公開効率化	○	○	3	5万7千	30	1	2	1
☆ 東京都 某市議会	2006年6月	業務の効率化	○	○	4	約26万	34	1	2	0
☆ 静岡県 某市議会	2006年6月	業務の効率化		○	1	5万	24	1	1	0
☆ 東京都 国分寺市議会	2006年9月	業務の効率化		○	1	約12万	25	1	5	1
☆ 某県議会	2006年9月	業務の効率化		○	1			1	2	1
☆ 某市議会	2006年11月	業務の効率化	○	○	3	9万3千	28	1	2	1

※公表の許可を頂いたお客様のみ名前を記載しております

☆ 当初予算 ★ 補正予算

●議事録<民間向け> 2007年3月期の実績

主な実績 民間など

正式導入	導入年月日	導入目的	経営会議議事録作成		システム構成(ライセンス数)		
			資本金	従業員	Recorder	Rewriter	Control Server
某医療系財団法人	2004年6月	講演録作成支援			1	2	
山口銀行	2005年1月	経営会議議事録作成支援	100億	2800名	1	3	
某一部上場企業	2005年10月	経営会議議事録作成支援			1	3	
社団法人広島県医師会	2006年1月	経営会議議事録作成支援			1	2	
某企業	2006年3月	経営会議議事録作成支援	50億	約4,500名	1	2	
某地方銀行	2006年11月	経営会議議事録作成支援	113億	約700名	1	1	
熊本大学	2006年10月	法学系講義録作成支援			1	1	
自治医科大学付属病院	2007年3月	議事録作成支援			1	1	
とびあ浜松農業共同組合	2007年3月	議事録作成支援			1	3	
某企業	2007年3月	議事録作成支援			1	3	

※公表の許可を頂いたお客様のみ名前を記載しております

●2008年3月期の見通し

・金融 (CTI等)

-銀行・証券・生損保などを中心に展開

・*AmiVoice CallScriber* 金融商品取引法施行に伴うコンプライアンス強化。

重要事項説明・リスク説明等 証跡管理機能の提供。

・*AmiVoice Assist*

コンプライアンス、オペレータ対応品質向上、チェックの効率化。

・*AmiVoice mobile*

金融業界のリテール部門の強化の動きに対応し、営業支援システムへの携帯・スマートフォンからの音声入力。即時性・正確性・入力の容易さを実現。

・*AmiVoice EX*

手書き申し込み・アンケートの音声による入力。倍以上の入力の効率化を実現。

・*AmiVoice CTI*(仮称)

CTIへの音声入力・認識エンジンの実装。コンプライアンス強化・入力の効率化の実現

・公共

-地方議会向け議事録作成支援システムを地域に根ざしたシステム開発会社と協業し営業。



データエントリーの手段として音声
認識ソリューション・声紋認証を販売。

●2007年3月期の実績

・従来のパッケージ製品の販売よりもユーザニーズに合致した音声認識ソリューションの受託に営業資源を集中。

ー 声紋認証：明和地所株式会社、株式会社ユニオンと業務提携し、マンション入室セキュリティシステムを構築、06年7月販売のマンション「クリオ船堀」から住人の声（声紋認証）を基に、本人確認し、エントランスを開閉するシステムを導入。（07年4月より入居開始）

ー 従来IT化が困難と言われていた農林水産業、製造業分野にも音声認識ソリューションを導入
例：使用済み自動車処理・リサイクルパーツの国内外への販売事業を行うカースチール株式会社には音声入力ソリューションを導入。



ー 声によるコマンド操作ができる会議室制御システム*AmiVoice SceneDirector*を販売。

ー 外食業・ホテル旅館業向け顧客意見聴取、ロス管理・棚卸システムを展開するため、*AmiVoice*を活用した店舗経営システムをMHSダイニングと共同開発。

●2008年3月期の見通し

・*AmiReception, AmiVoice Dialer, AmiVoice SceneDirector* を一般企業のニーズに合致すべく改変し(他社の提供する機能の付与や価格体系の変更も含む)、販売ボリュームの拡大を目指す。

・マンション、オフィスに声紋認証による入退室管理システムを普及させ、携帯電話向け声紋認証の開発・販売も行う。

・音声認識ソリューションを受託し、パッケージ化し再販していくビジネスモデルを実現する。

・*AmiVoice Business Cultivation Program* を開催し*AmiVoice*の開発パートナーを編成する。

**I . 2007年3月期 (10期) 連結決算の実績及び、
2008年3月期 (11期) 連結決算の見通しについて**

2-②. テレマーケティング事業の業績及び見通し

テレマーケティング事業の実績と見通し

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンス・メディア

■ 収益の実績と見通し

単位: 百万円

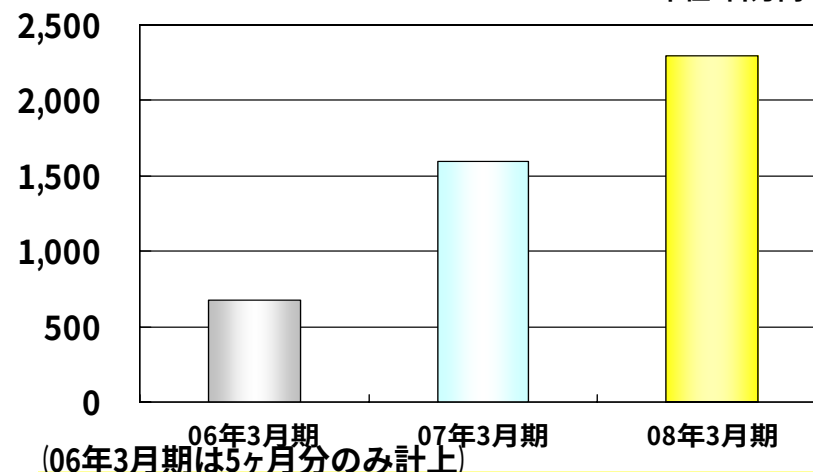
	06年3月期	07年3月期 実績	08年3月期 見通し
売上高	673	1,610	2,317
営業費用	707	1,841	-
営業利益	▲34	▲230	-

注) 06年3月期は5ヶ月分のみ計上、06年3月期は 145百万円、
06年/07年3月期は、355百万円ののれん償却を含む

テレマーケティング事業は、売上が堅調に推移。但しのれん償却及び税負担増に伴う当期純損失が発生。

■ 売上高推移

単位: 百万円



オフィス用品通販 (カウネット事業) と電話回線販売へ継続取り組み。アフィリエイト事業にも参入。のれんは前期に引き続き負担が続く。

【ハイライト】

- 主力の電話回線販売が堅調に推移、加えて今後の安定収益確保の目的から注力しているオフィス用品通販 (カウネット事業) が順調に進展。
- 当社音声事業の製品の販売も開始。
- オフィス用品通販のカタログを先行的に配布により、販売管理費が当初見込みを上回り230百万円の営業損失。

【計画達成の取り組み】

- 主力の電話回線販売及びオフィス用品通販 (カウネット事業) 事業に加えて、アフィリエイト事業 (携帯電話販売店舗におけるモバイルコンテンツの販促支援) にも取り組む。

**I . 2007年3月期 (10期) 連結決算の実績及び、
2008年3月期 (11期) 連結決算の見通しについて**

2-③. その他事業の業績及び見通し

その他事業の実績と見通し

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンス・メディア

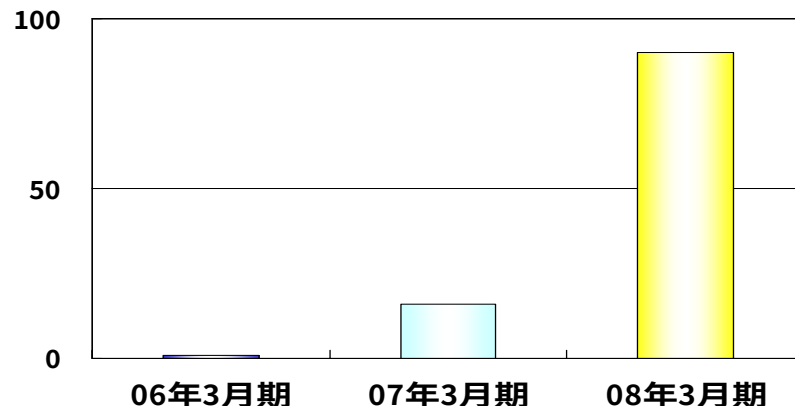
■ 収益の実績と見通し

単位: 百万円

	06年3月期	07年3月期 実績	08年3月期 見通し
売上高	1	16	89
営業費用	35	90	-
営業利益	▲34	▲74	-

■ 売上高推移

単位: 百万円



子会社ボイスドメインサービス事業の立ち上げが遅れたことから、売上微増に留まる。

子会社ボイスドメインサービス事業を活性化させる。

【ハイライト】

- ボイスドメインサービスは06年3月より正式サービスを開始。DSR (分散型音声認識) 対応の携帯電話の普及が当初の予定通りに進まず、登録事業は本格稼働に至らず。
- グローバル・バリュー株式会社が展開するサービスへの音声認識ソリューションの提供や、携帯電話向けサービス事業者との共同キャンペーンにおいて、会員を獲得。
- ボイスキャピタル・ソリューションは06年8月から営業を開始。当社グループと音声認識事業に関するシナジーが期待できる事業会社に対し、コンサルティング、投資活動を行う。

【計画達成の取り組み】

- 非DSR型のIVR型ボイスドメインサービスにより特定用途での普及を狙う。登録事業に加えて、ボイスドメインサービスを使ったキャンペーン事業 (モバイル広告)、検索サービス事業など新規サービス事業を展開。
- ボイスキャピタル・ソリューションは、音声認識事業と相乗効果が狙える事業会社への効果的な投資活動を活発化させる。

II. 今後の事業の方向性について

1. 成長シナリオ

当社事業の概要 (連結ベース)

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

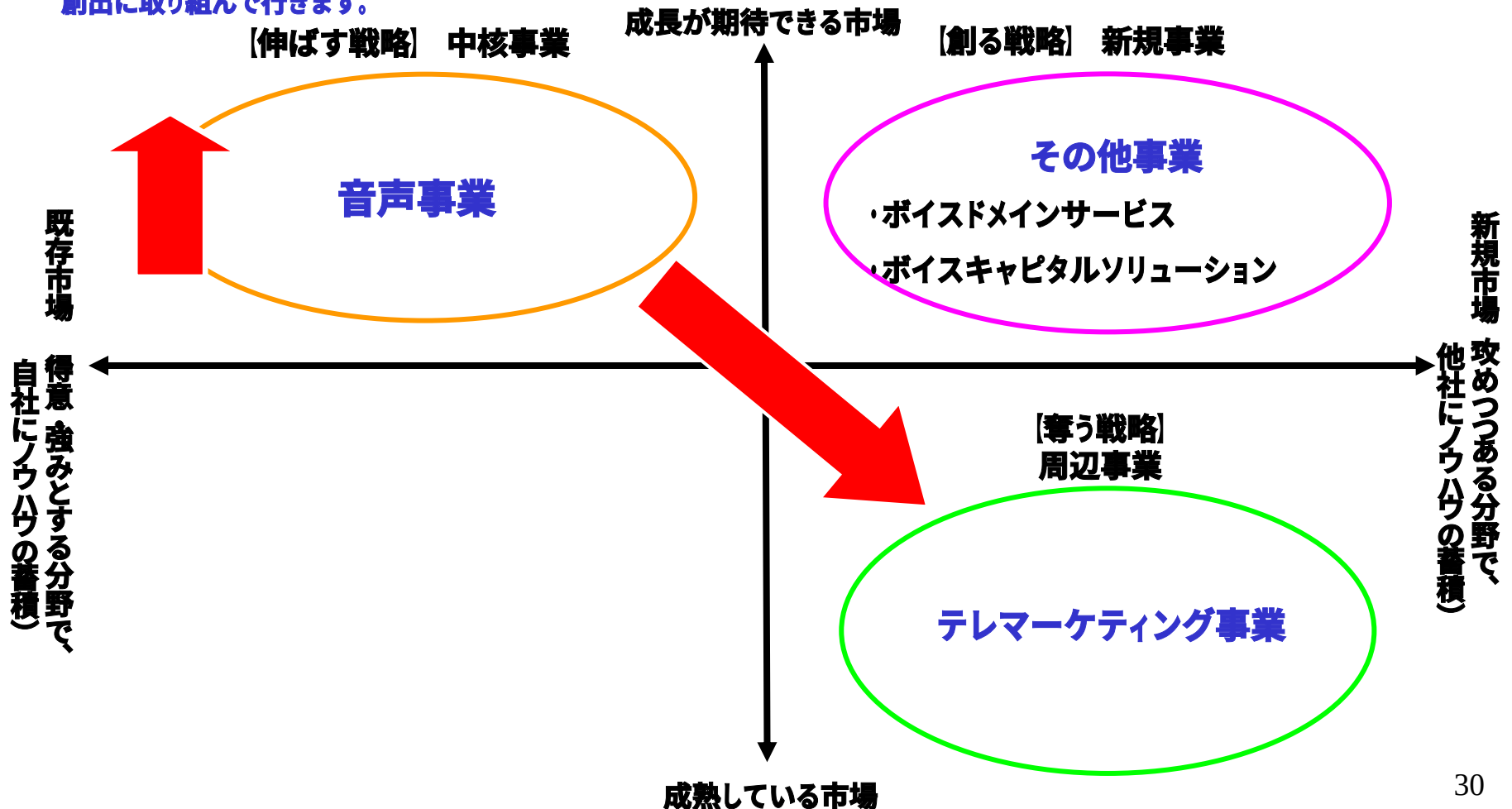
セグメント名			事業の内容
音声事業: 最終顧客が使えるソフトを製品化して販売 07年3月期実績 売上高15.3億円			【創業期からの強みある事業】 米国MTI社 (Multimodal Technologies, Inc. の略で当社の持分法適用会社) と共同開発したAmiVoice音声認識エンジンを中心とした音声認識ソリューションのライセンス販売及び音声認識システムの利用に関わる開発、コンサルティング、サービスの提供。
テレマーケティング事業: 当社音声認識ソフトを使って差別化 対象はレガシー事業 07年3月期実績 売上高16.1億円			【「音声認識」の強みを活かした多角化事業】 電話利用のアウトバウンド営業等により、電話回線販売やオフィス用品通販等を行う。 ①アウトバウンド営業のコールセンター運営事業 ②電話回線やオフィス用品通販
その他事業	サービス事業	ボイスドメインサービス株式会社 当社音声認識ソフトを使って携帯電話で 新市場を創造 07年3月期実績 売上高0.13億円	【音声認識による声による検索の新サービス事業】 携帯電話上の声によるURL接続サービスを行う。 ①カスタム検索サービス ②携帯電話を利用したキャンペーン事業
	投資事業	ボイスキャピタルソリューション株式会社 当社製品を用いて事業を創出し、音声事業を 活性化する企業に投資 07年3月期より開始	【音声事業と相乗効果の狙える事業投資】 ・音声認識ソリューション普及に貢献する企業に対する出資。

事業セグメントの全体戦略俯瞰図

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

音声事業は、経営資源投入による市場支配力の引き上げを行います。さらに、音声事業を軸足にテレマーケティング分野において、周辺市場の奪取を狙います。具体的には、テレマーケティングで収益を上げながら、並行して自社内で活用した知見を活かし、CTI分野向けの音声認識技術のソリューション開発を行っていきます。新規事業であるその他事業において、ボイスドメインサービスは、音声認識技術を使ったASPサービス事業による新しいビジネスモデルへの取り組み、また投資育成事業のボイスキャピタルソリューションにおいて、音声事業と相乗効果の得られる事業に対し積極投資を行い、新市場創出に取り組んでいきます。

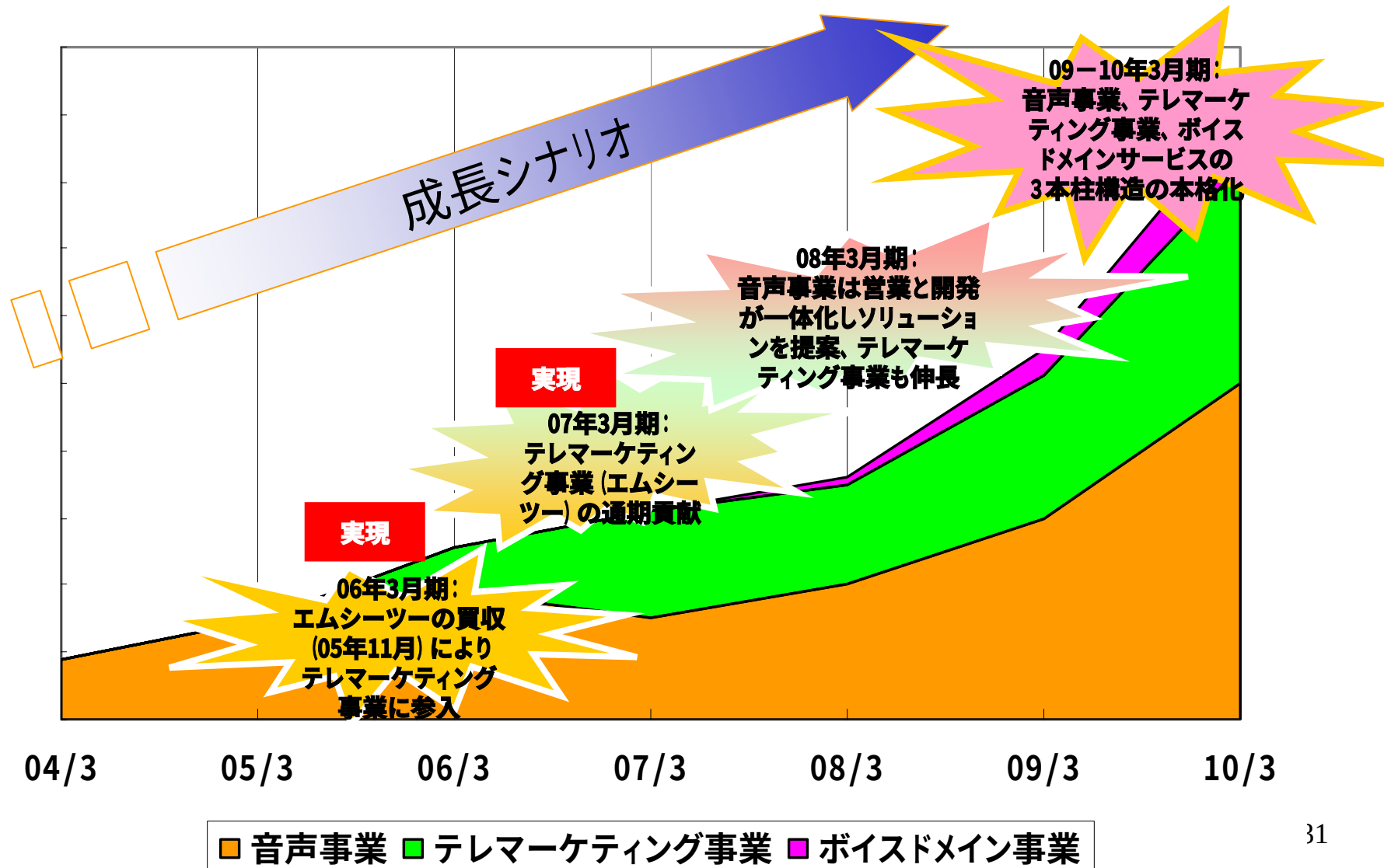


今後3年間 (08/3～10/3) の成長シナリオ

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

■ 10年3月期までに3本柱 (音声事業、テレマーケティング事業、ボイスドメイン事業) 事業モデルを確立。

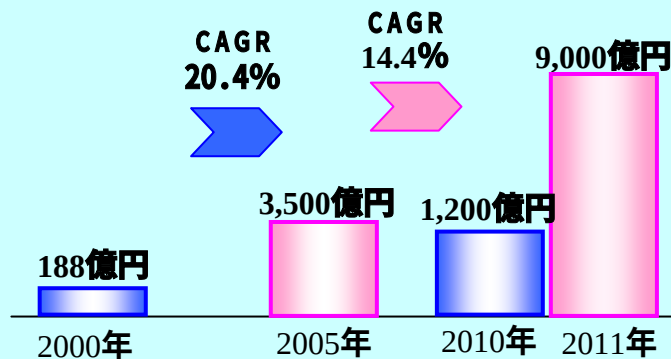


日本国内の音声認識関連の市場予測における、年平均成長率は 14.4～20.4%の高成長が期待できる市場。
音声認識分野の先進国の米国においても32.8%の高成長。

音声認識ソフト市場及び音声の入出力機能を備えた製品の国内市場

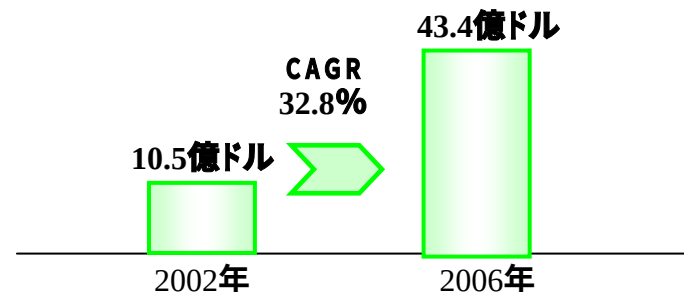
- ・ 音声認識ソフトウェア市場：2000年の音声認識ソフトの国内市場の規模は、188億円。 2010年は1,200億円、年平均伸び率 20.4%
- ・ 周辺市場：2005年の音声入出力機能を備えた製品の国内市場の規模は、3,500億円。 2011年は9,000億円、年平均伸び率 14.4%
- ・ (参考) 米国における音声認識技術の市場規模：2002年の米国音声認識技術の国内市場の規模は、10.5億ドル。 2006年は43.4億ドル。年平均伸び率 43.4%

音声認識 (合成含む) ソフトウェア市場及び
周辺市場の規模予測



(出典) 赤: 旭リサーチセンター推計
青: 日経新聞社・三菱総合研究所推計

(参考) 米国音声認識技術の市場規模予測

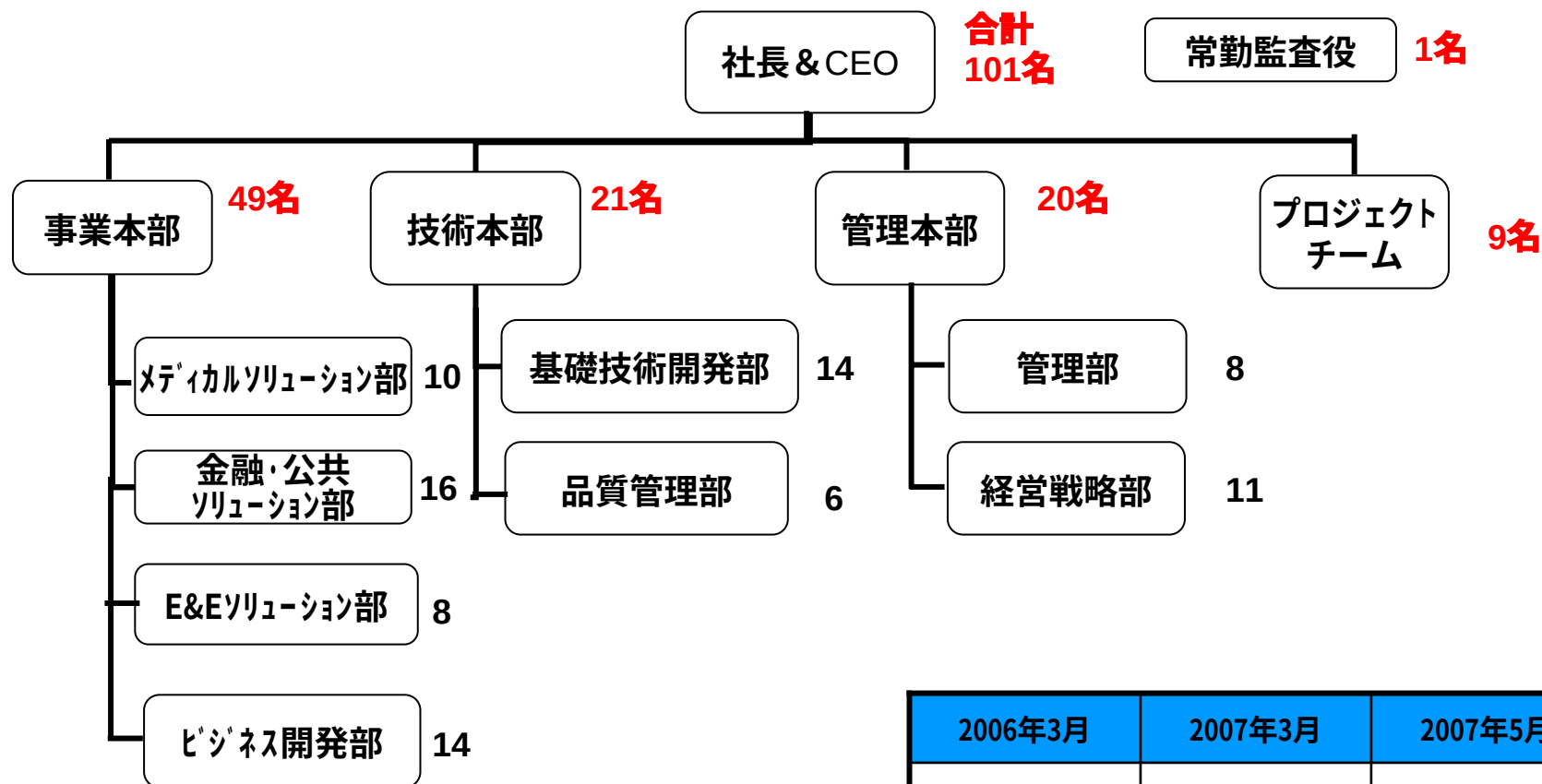


(出典) 2003年特許庁・音声認識技術に関する特許出願技術動向調査報告書

II. 今後の事業の方向性について

2. 成長に向けての取り組み

事業ドメインをベースに人員を配置



2006年3月	2007年3月	2007年5月
85名	100名	101名

(非常勤役員を除く)

連結は2007年3月末時点で109名。

07年3月期より、音声事業において営業と開発を一体化させ、4つの事業ドメイン別に音声認識ソリューションを展開。

+

モバイル分野への積極投資継続

- ① ASPサービス提供
- ② キャリアへの働きかけ



Advanced Media, Inc.



●2007年3月期の実績

- ・音声認識を活用した新しい入力インターフェースがNTTドコモ FOMA® M1000に登場
ビジネス統合ツール「**AmiVoice® Mobile Tools - Biz Pack for M1000**」を販売
(8月)
- ・カスタマイズドボイスドメインの開発販売 (グローバルバリュー社)
- ・各社との共同キャンペーン (アドウェイズ社、グローバルバリュー社)

●2008年3月期の見通し

- ・DSRを利用した企業ユーザ向けビジネス統合ツールの搭載を各携帯キャリアに働きかけ。
- ・個人をターゲットとした音声認識を利用したモバイルコンテンツサイトの開発。
- ・ボイスドメインサービス
 - ーバーティカルマーケット向けのIVR型のボイスサーチの活性化
 - ーキャンペーン・サービスの受託
 - ーQRコードの補完機能としてのボイスコードの普及
 - ー「しゃべるん」サイトの運営による広告事業

DSRソフトのインストール可能な携帯電話

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンス・メディア



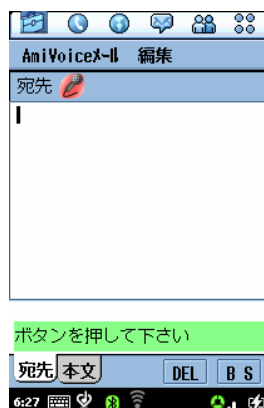
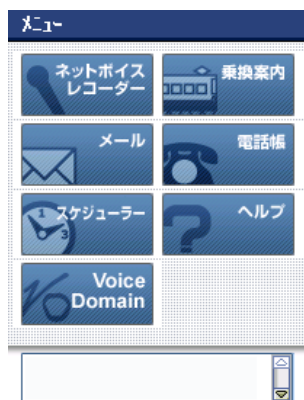
**NTT DoCoMo FOMA
M1000**



**Vodafone
702NKII**



**WILLCOM W-
ZERO3**



NTTドコモFOMA M1000版ビジネス統合ツール



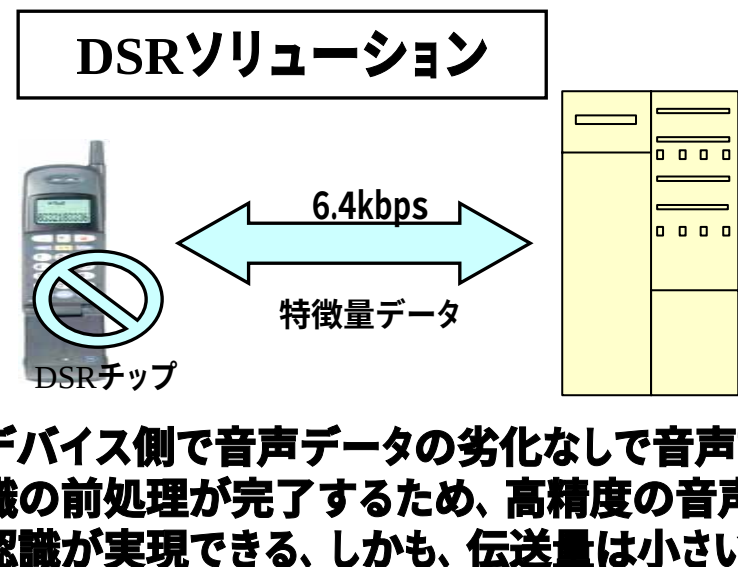
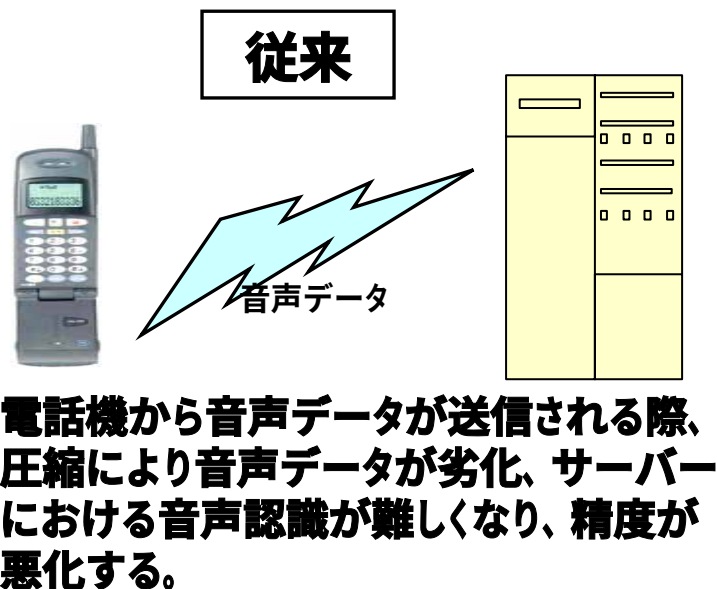
**NTT DoCoMo FOMA
hTc Z**



**SoftBank
X01HT**

モバイル端末に高精度で高度な音声認識インタフェースを！

- DSR (Distributed Speech Recognition) ソリューションとは、デバイスとサーバーに分割された音声認識システム。高精度で高度な音声認識インタフェース実現可。
- デバイス側でインプットされた音声は、「特徴量データ」に変換され、それがパケット送信されるので、従来の音声圧縮デコードによる劣化がなく高精度が期待できる。また、ノイズの混入余地が少なく、かつ、通信方式がTCP/IPであることによりパケットロスの影響も受けにくい。
- 1/30以下の圧縮率に相当する軽いデータとして送信される。(従来は1/5～1/10)



III. 参考資料

1. P/L、B/S、C/F (連結・単体※)

※単体についてはC／Fはありません。

連結損益計算書 (P/L) 比較

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

(単位:百万円)

	06年3月期	07年3月期	増減
売上高	2,566	3,111	▲545
原価	1,321	2,065	744
売上総利益	1,245	1,045	▲200
営業利益	▲107	▲1,262	▲1,155
利益率	▲4.2%	▲40.6%	—
経常利益	▲59	▲1,325	▲1,266
利益率	▲2.3%	▲42.6%	—
当期利益	▲131	▲1,365	▲1,234
利益率	▲5.1%	▲43.9%	—

MEMO

- ・音声事業は前年対比マイナス、テレマーケティング事業は堅調。
- ・受注及びアフターサポートのための営業経費（開発経費を含む）やソフトウェア償却費が増加。
- ・音声事業拡大のために人員増強・モバイル分野への先行投資を継続的行なったこと、子会社エムシーツの販売管理費も増加したため。

連結貸借対照表 (B/S) 比較

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

(単位: 百万円)

	06年3月期	07年3月期	増減	MEMO
固定資産	2,731	3,046	315	・MTIへのソースコードアクセス権購入とアプリケーション開発の資産化。
流動資産	4,090	2,723	▲1,367	・売掛金の減少 ・現預金の減少 (営業損失が発生、子会社の投資のため)
資産合計	6,822	5,769	▲1,053	
固定負債	0	171	171	・MTIの未払金
流動負債	1,380	1,195	▲185	・買掛金が減少。
負債合計	1,380	1,366	▲14	
資本金	3,367	3,511	144	
純資産合計	—	4,402	—	・自己資本比率は74.7%。
負債純資産合計	—	5,769	—	

連結キャッシュフロー計算書 (C/F) 比較

(単位: 百万円)

	06年3月期	07年3月期	増減	
営業活動による キャッシュ・フロー	94	▲602	▲697	・当期純損失のため営業 キャッシュフローが減少し た。
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,228	▲1,080	147	
財務活動による キャッシュ・フロー	2,939	486	▲2,452	・財務活動によるキャッ シュフローは減少。06年3 月期は公募で資金調達を 行った。
現金及び現金同等物 に係る換算差額	19	19	0	
現金及び現金同等物 の増減額	1,824	▲1,176	▲3,001	・当期純損失のため営業 キャッシュフローが減少し た。
現金及び現金同等物 の期末残高	2,898	1,724	▲1,173	

MEMO

単体損益計算書 (P/L) 比較

(単位: 百万円)

	06年3月期	07年3月期	増減
売上高	1,946	1,539	△406
原価	773	1,176	402
売上総利益	1,172	362	△810
営業利益	116	△1,043	△1,160
利益率	6.0	-	-
経常利益	160	△1,010	△1,170
利益率	8.2	-	-
当期利益	154	△1,023	△1,178
利益率	8.0	-	-

MEMO

・音声事業は予想を下回り、前年対比マイナス。

・受注及びアフターサポートのための営業経費 (開発経費を含む) やソフトウェア償却費が増加。

・音声事業拡大のために人員増強・モバイル分野への先行投資を継続的に行ったため、販売管理費が増加。

単体貸借対照表 (B/S) 比較

(単位: 百万円)

	06年3月期	07年3月期	増減	MEMO
固定資産	2,659	3,154	494	・ MTIへのソースコードアクセス権購入とアプリケーション開発の資産化。
流動資産	3,329	2,297	△1,031	・ 売掛金の減少 ・ 現預金の減少 (営業損失が発生した結果)
資産合計	5,989	5,452	△536	
固定負債	0	70	70	・ MTIの未払金
流動負債	741	868	127	・ 買掛金、未払金の一時的な増加
負債合計	741	939	198	
資本金	3,367	3,511	144	
純資産合計	—	4,512	—	・ 自己資本比率は82.3%。
負債純資産合計	—	5,452	—	

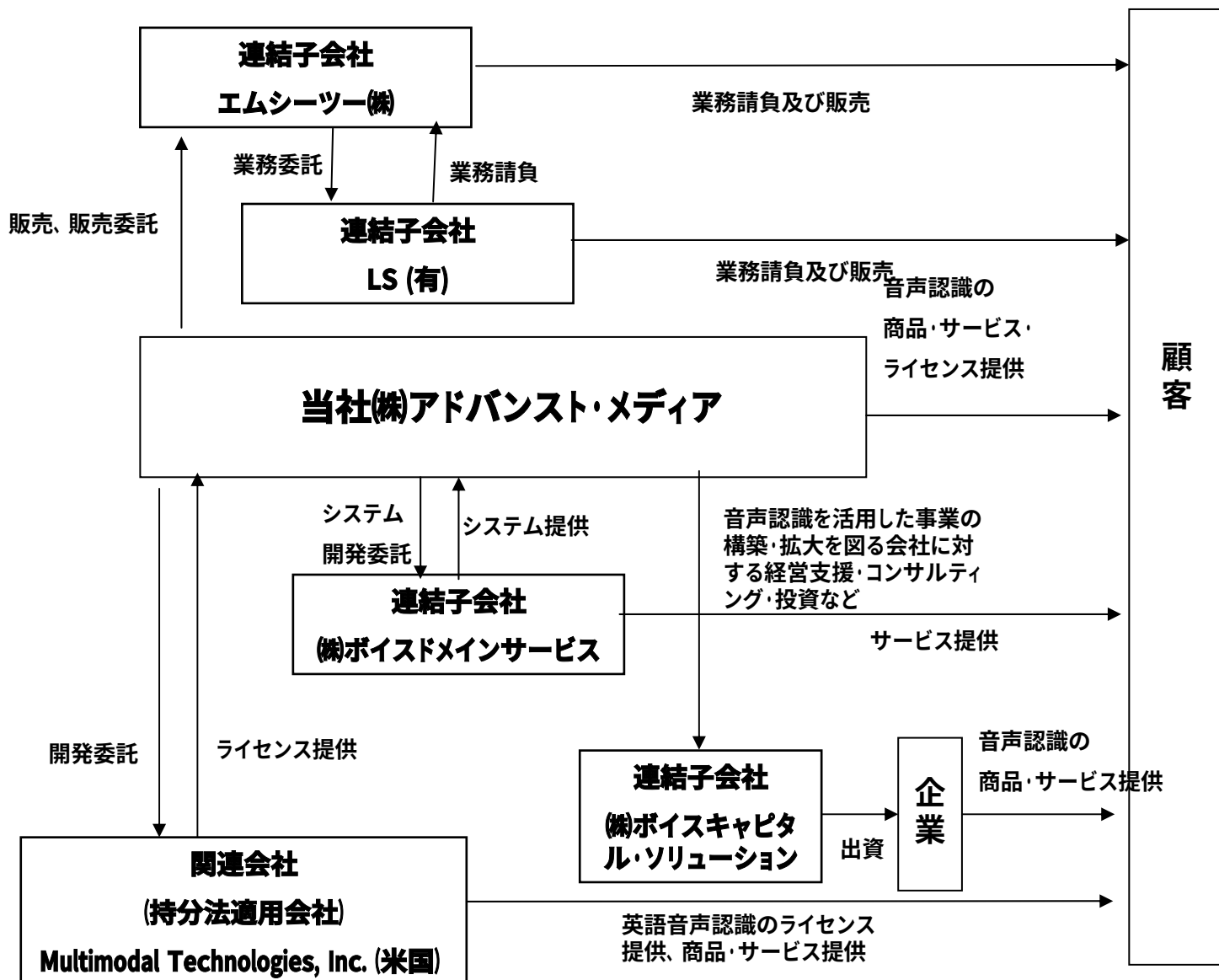
III. 参考資料

2. 会社概要、沿革、他

※単体についてはC／Fはありません。

- ・ **会社名** 株式会社アドバンスト・メディア
- ・ **設立** 1997年12月
- ・ **資本金** 35億2,012万円 (115,702株) (2007年4月末日現在)
- ・ **所在地** 〒170-6048
東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 48F
- ・ **電話** 03-5958-1031 (代表)
- ・ **業務提携先** Multimodal Technologies, Inc. (米国) <持分法適用会社>
- ・ **子会社** (株) MC2、(株) VDS、(株) VCS
- ・ **事業内容**
 - ・ アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う
「**ソリューションサポート事業**」
 - ・ 「ソリューションサポート事業」で掘り起こされた市場のニーズに適合するパッケージ
商品をライセンスとして提供する「**ライセンス事業**」
 - ・ 当社自身がアミボイスを使い、企業内のユーザや一般消費者へサービス提供を行う
「**サービス事業**」
- ・ **代表者** 代表取締役 鈴木 清幸
- ・ **主要株主** 鈴木 清幸など
- ・ **詳細は**<http://www.advanced-media.co.jp/>をご参照ください。

- ・ 1997年12月 株式会社アドバンスト・メディア設立
- ・ 1998年1月 米国ISIとの共同プロジェクトにより、*AmiVoice*エンジン（日本語音声認識エンジン）の開発に着手
- ・ 2001年5月 *AmiVoice SDK, AmiVoice for Telephony* リリース
- ・ 2001年12月 *Multimodal Technology Inc. (MTI)* 設立。
MBOにてISIを吸収。（当社30%シェア所有、2名取締役派遣）
- ・ 2002年3月 *AmiVoice for XBOX, AmiVoice for PS2, AmiVoice/DSR, AmiVoice for WinCE* 発表
- ・ 2003年10月 *AmiVoiceRewriter, CallScriber, Assist, Dialer, AmiReception*等のパッケージ商品をリリース開始
- ・ 2004年11月 *AmiVoiceDSR*チップ (ASIC)を搭載し、携帯に外付け装着する評価ユニットMini-Harp発表
- ・ 2005年3月 愛知万国博覧会に日英中韓4カ国対応の受付案内ロボット（アクトロイド）をリリース
- ・ 2005年6月 東京証券取引所マザーズ市場に上場
- ・ 2005年7月 株式会社ボイスドメインサービス (VDS)設立。サービス事業を開始。
- ・ 2006年10月 優れた起業家を称える国際的な起業家表彰制度「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー」の日本代表に鈴木清幸社長が選ばれる。
- ・ 2007年5月 声紋認証システム *AmiVoiceGuard* 発表





■放射線／病理画像レポート、
電子カルテ（大病院、診療所、
歯科クリニック）、調剤・薬剤等

・AmiVoice Ex

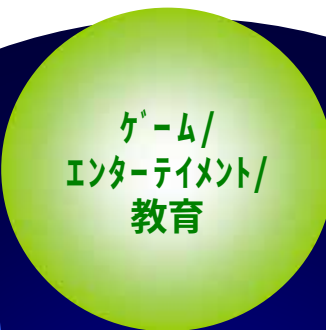


■次世代コールセンターソリューション

- ・AmiVoice CallScriber
- ・AmiVoice Assist
- ・AmiVoice Interactive Responder (AIR)

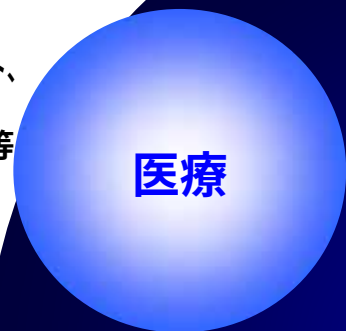


- ・AmiVoice Reporter
- ・AmiVoice Dialer
- ・AmiReception
- ・AmiVoice BizMail
- ・AmiVoice SceneDirector



ゲーム/
エンターテインメント/
教育

■ゲームソフト、教育ソフト
・AmiVoice CALL



医療



議事録

■議会議事録

・AmiVoice Rewriter

■音声対応HP、バリアフリー、
オペレーションフリー、人が公
共施設や家庭で「簡単に」「便
利に」必要な公の情報を入手
できるインフラ等



CTI

Advanced Media, Inc.



モバイル

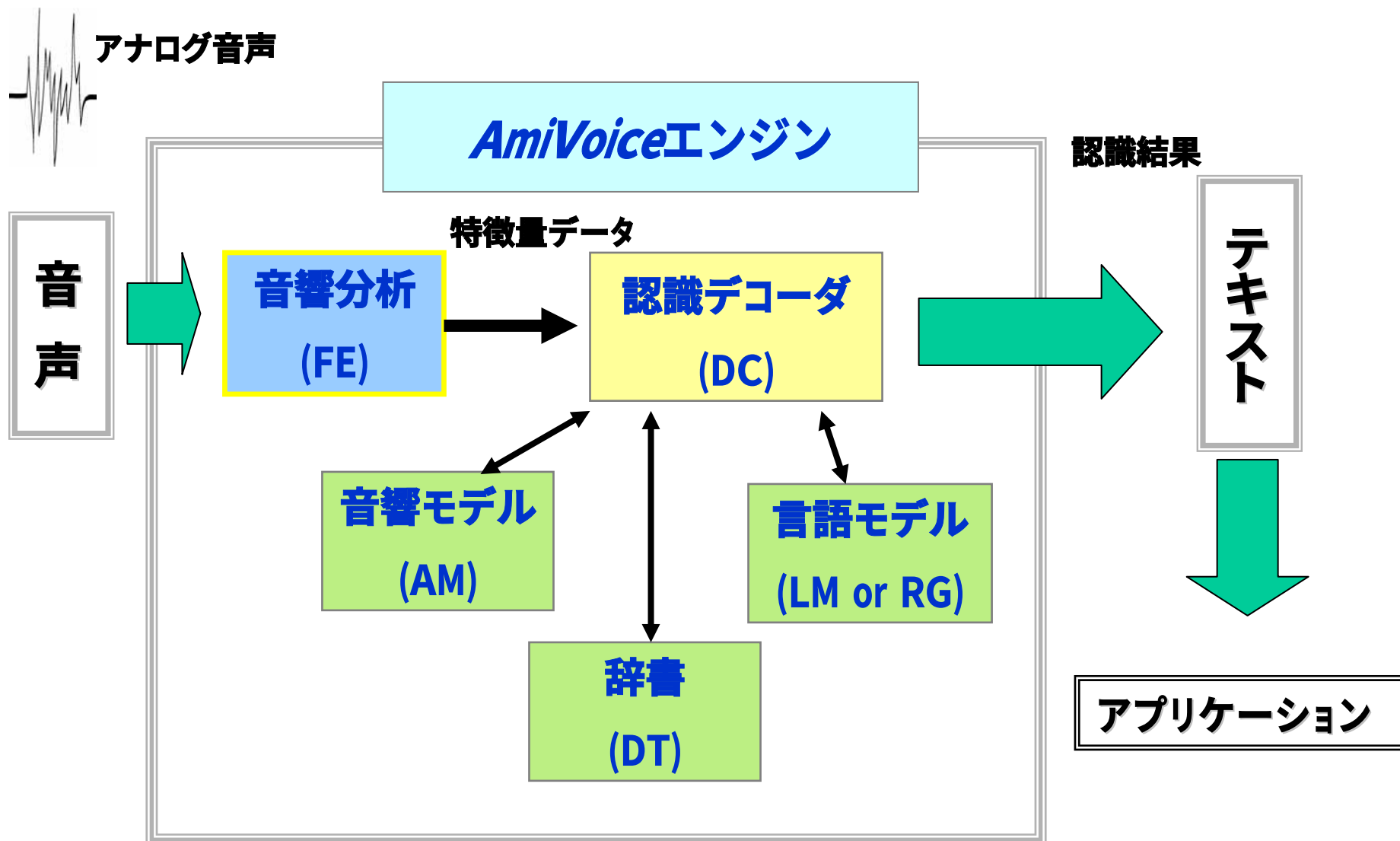
携帯DSRによるモバイルサービス
いつでも、どこでも、だれでもが
「便利」「役に立つ」「ありがたい」

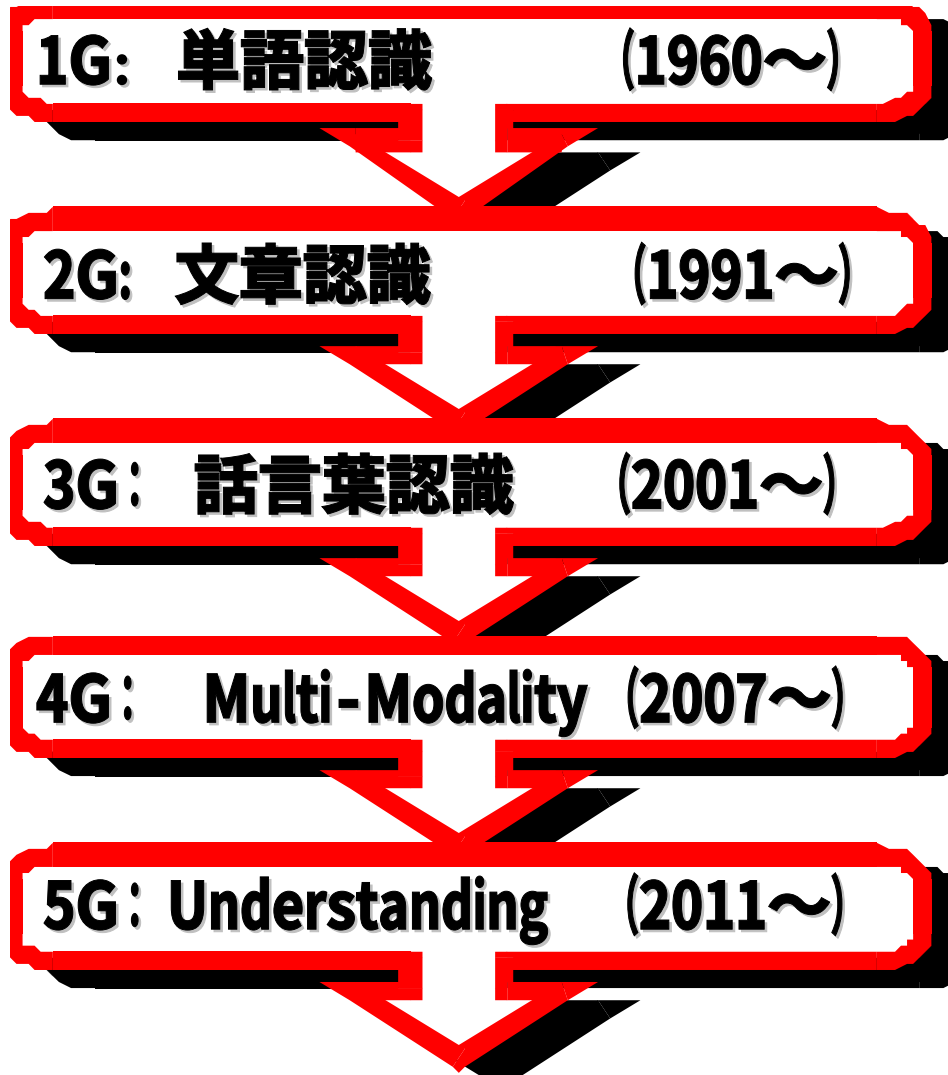


ビジネス
ソリューション

■コンプライアンス、等



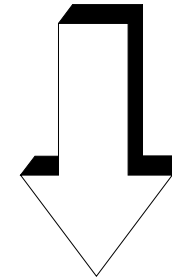




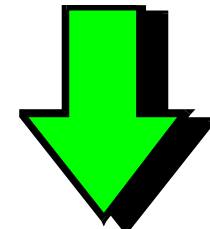
世代 (G) のポイント

- 3G: 不特定話者性、スピードの変化、抑揚、アクセントの違いに対応
- 4G: 2-3m離れても認識可能
- 5G: 自然対話、知的推論機能

実用化の始まり



普及



アタリマエの世界

ありがとうございました

**株式会社アドバンスト・メディア
経営戦略部 広報・IR担当**

**〒170-6048
東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 48F
TEL:03-5958-1031(代)
FAX:03-5958-1032**